

用語の説明 (50音順)

E-SHOP (いーしょっぷ)

春資材の予約注文をパソコンやスマートフォン、タブレットから24時間いつでもどこでも注文できるインターネット購買の名称。

SDGs (えすでいーじーず)

Sustainable Development Goals。
2001年に策定されたミレニアム開発目標 (MDGs)の後継として、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標。(引用：外務省HP)

LA (えるえー)

ライフアドバイザーの略。組合員・利用者の皆さまとJAを繋ぐパイプ役として、共済に関するさまざまな相談にお応えするとともに、各種ご提案やアドバイス活動を行う渉外担当者の名称。

ALM (えーえるえむ)

Asset Liability Management
資産 (A) と負債 (L) を総合的に管理 (M) するという事により市場性リスクと流動性リスクを管理する手法のこと。

キャッシュ・フロー

一定期間内に企業が出し入れした資金の額のこと。

GAP (ぎゃっぷ)

農業において食品安全等の持続可能性を確保するための生産工程管理のこと。

くらしの活動

組合員や地域住民が、くらしの中での様々な思いやニーズを実現していくために行う自主的な活動に対して、JAが食農教育や高齢者生活支援、その他JAの総合事業が持つ地域のライフライン機能を生かして様々な面からサポートし、またJA自らも取り組んでいく活動。

3Q活動 (さんきゅーかつどう)

アフターフォロー・推進・契約保全が一体となった活動で、対面による3Q訪問と3Qコール・オンライン面談等を活用した非対面による活動。組合員・利用者のみなさまに共済事業へのご理解・ご協力に感謝 (ありがとう (サンキュウ)) を申し上げるとともに、近況確認等の3つの質問 (Q) をさせていただく活動の総称。

自己改革実践サイクル

自己改革の実践・進捗確認を行うための仕組みのこと。対話・取り組み・評価を循環させていくもの。

自己引き取り

指定した場所へ本人が引き取りに行くこと。

主要11品目

自己改革工程表等に掲げている主要11品目は、次の品目を示している。①ねぎ②玉ねぎ③ブロッコリー④いちご⑤ソラマメ⑥きゅうり・もろきゅうり⑦トマト (無加温) ⑧つるむらさき⑨梨⑩花卉 (菊、小菊、トルコ等) ⑪生協産直 (野菜) のこと。

スマイルサポーター

組合員・利用者のみなさまからの共済に関するさまざまな各種お手続きや共済金のご請求、保障の相談などについて、窓口を中心に対応を行う窓口担当者の名称。

仙台牛格付率

上位等級におけるA5・B5率のこと。

全農生販マッチング事業

園芸作物振興強化のために新たに作付けする作物や、現在生産している作物の面積を拡大するために経費の一部を助成する。

地区営農ビジョン

地域農業の将来を見据えた目標・構想。

内部統制システム

JAが健全な経営を行うため、①業務の有効性および効率性②財務報告の信頼性③法令等の遵守④資産の保全を目的に構築する仕組み。

マネー・ローダリング

犯罪や不当な取引で得た資金を、正当な取引で得たように見せかけたり、多数の金融機関を転々とさせることで、資金の出所をわからなくしたりする行為。(引用：金融庁HP)

マーケットイン

消費者や実需者の需要や要望に応じて生産・供給を行うこと。

ライフプランサポート

お客様の“一生涯”に渡る「つかう・ためる・そなえる・ふやす・のこす」といった“総合的な”金融ニーズにお応えすることを目的に、お客様との信頼関係の構築を図り、お金にまつわる相談相手としてJAの金融商品のPRを行っております。

リスク

損失や不都合を生む可能性を指す。総括して「危険性」

リスクフリーレート

誰でもリスクなしで得ることができる金利のこと。

リスクヘッジ

リスクを回避・低減する工夫をすること。

